

令和2年8月産業経済委員会所管事務調査

(令和2年8月7日)

- 1) ① 国内における宿泊客の増加に向けた方策について (調査主任：渡部道宏)
- ② インバウンド誘客の取り組みについて (調査主任：渡部道宏)
- ③ 一般社団法人妙高ツーリズムマネジメントに関連して
(調査主任：渡部道宏)

2) 調査理由 (目的) :

- ① 新型コロナウイルス感染症による市内への宿泊客が減少する中、増加に向けた方策についてを調べる。
- ② 新型コロナウイルス感染症による市内へのインバウンド客の減少が見込まれる中、誘客に向けた取り組みについてを調べる。
- ③ 観光地域づくりの舵取り役として、多様な業種で構成する一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント (観光地域づくり法人) が発足し、日本版DMOの登録認定を受け、観光産業活性化を進めるための体制を構築し、市と連携して取り組むとしているが、その取り組みについて調べる。

3) 調査項目

(1) 国内における宿泊客の増加に向けた方策について

- ① 宿泊や観光施設などにおける新型コロナウイルス感染症対策はどのような状況か。
- ② つなぐ新潟キャンペーン (第一弾) において妙高市の宿泊施設を利用された件数と、利用者の評価はどのようなか。
- ③ 妙高おでかけクーポンについて現在までの利用数と残数はどのようなか。また、残分はどうするのか。

(2) インバウンド誘客の取り組みについて

- ① 国の渡航制限が緩和された時点で、速やかに妙高市への来市を促す対策とその進捗状況はどのようなか。
- ② 今冬の集客の見込みと対策はどのようなか。
- ③ 妙高市の宿泊施設のうち、外国人がオーナーの施設について、そのオーナーとの交流を深める取り組みはどのようにしているか。

(3) 一般社団法人妙高ツーリズムマネジメントに関連して

- ① 妙高ノートについて、現在の会員登録数と増加に向けた取り組みについてはどのようなか。

- ② 業務の多種化によって多様な人材が必要と考えるが、人的な支援などについての考えと、予算的な支援についてはどのようなか。
- ③ 観光・旅行業界に強い専門職の育成に関する考えはどのようなか。
- ④ ビッグデータの活用状況はどのようなか。
- ⑤ 高谷池ヒュッテの稼働状況と仮に赤字の場合の対応はどうするのか。
- ⑥ 観光誘客イベントが中止や縮小の対応となっているか、下半期のイベントについてはどのような対策を考えているか。
- ⑦ 観光庁では、7月初めに国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業支援対象地域18件を選定した。妙高市も選定され、長期滞在や消費拡大に向け、スキー以外の観光スポット整備も後押しし、訪日客を呼び込み年間を通して利用客が訪れるリゾートを目指すとしているが、今後の取り組みをどうするのか。